

# かはくスクールプログラム「骨ほねウォッチング」プログラムガイド

令和2年度4月

国立科学博物館 学習課学校連携担当

## プログラム展開 (45分)

時間	■学習活動
10分	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">導入</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ボランティア・職員自己紹介</li><li>■学習テーマと活動内容の確認</li><li>○テーマ「骨ほねウォッチング」</li><li>○活動について</li><li>(1)骨格標本の扱い方<ul style="list-style-type: none"><li>①こわさない。</li><li>②混ぜない。</li><li>③袋に入っている骨（※肋骨）は出さない。</li><li>④組み立ては立って行い、イスはテーブルの下に入れる。</li></ul></li><li>(2)組み立てのヒント<ul style="list-style-type: none"><li>①自分の体をさわって確かめながら組み立てる。</li><li>②骨と骨がつながる部分に注目する。</li><li>③大きな骨から組み立てる。</li><li>④頭骨は進行役側に仰向けに配置する。</li></ul></li></ul>
10分	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">分離骨格標本の組み立て①</div> <ul style="list-style-type: none"><li>■各テーブルで分離骨格標本の組み立てを行う。</li></ul>
5分	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">分離骨格標本の組み立て②</div> <ul style="list-style-type: none"><li>■全身交連骨格標本を参考に、分離骨格標本の組み立てを完成させる。</li><li>○全身交連骨格標本の骨の向きやつながりに注目する。</li></ul>
20分	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">まとめ</div> <ul style="list-style-type: none"><li>■骨のつくりとはたらきについて理解する。</li><li>○クイズ形式にて、骨のつくりとはたらきについて確認する。 ⇒人の体にはたくさんの骨があり、体を支えたり、守ったり、動かしたりしている。</li><li>■アンケートを記入する。</li><li>○館内の関連展示について知る。</li><li>○プログラム終了の挨拶</li></ul>